

加治時次郎 かじときじろう 醫師。安政五年一月一日豊前國生れ、昭和五年五月二十日歿（一八六八一—一九三〇）。舊姓生田松一加藤。筆名七十翁勞夫、加時生、加藤八山、加藤生、時等。明治十二年東京大學醫學部中退後ドイツ留學。社會主義運動に關はり、二十六年直行團を組織して、機關誌「直言」を創刊。四十四年實費診療所、大正四年平民病院開設。のち日本労働黨社會事業部長、日本大衆黨相談役等々務り、産兒調節運動にも加はる。

譯著書、トーマス、ナム、ヒブソン著「自然界之應用（空氣の過去、現在及未來の研究）」（加藤時次郎名、神原松賴共譯、明治二十六年十一月十五日盛光堂書店）、『労働組合早わかり』（同、大正九年一月十日縦横社）等。